



No. 6
近畿地方整備局
事業評価監視委員会
平成27年度第1回

一般国道29号
ひめ じ きた
姫路北バイパス

【再評価】

平成27年7月
近畿地方整備局

事業全体図

一般国道29号 姫路北バイパス

国道29号は、兵庫県姫路市と鳥取県鳥取市を結ぶ約120kmの主要幹線道路であり、播磨地域の南北方向の交通を担う道路です。

姫路北バイパスは、姫路市域の国道29号の交通混雑の緩和、交通安全の確保、沿道環境の改善等を目的とした延長約6.2kmのバイパスです。



事業の概要

一般国道29号 姫路北バイパス

事業の目的

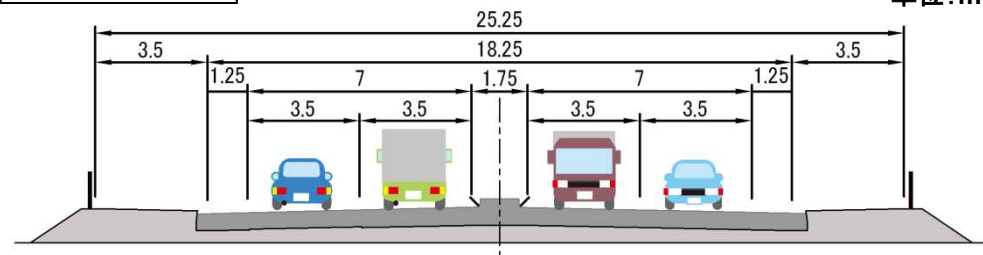
- 交通混雑の緩和
- 交通安全の確保
- 沿道環境の改善

事業の概要・進捗状況

区間	あいの (起)兵庫県姫路市相野 はやしだちようむくだに (終)兵庫県姫路市林田町六九谷
道路延長	6.2km
構造規格	第3種第1級
設計速度	80km/h
車線数	4車線
標準幅員	25.25m
計画交通量	27,500台/日
全体事業費	250億円
事業化	平成2年度
都市計画決定	平成2年7月
用地着手	平成9年度
工事着手	平成15年度
開通延長	1.5km
事業進捗率	約59% (平成27年3月末時点)
用地取得率	約30% (面積ベース、同上)



標準横断面図



再評価の視点	現在の状況	備考
事業の必要性に関する視点		
1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化	前回再評価時点(H24年9月)から大きな変化なし	<ul style="list-style-type: none"> ■ 交通量に大きな変化がなく、交通容量を大きく超過。 ■ 死傷事故率が高く、管内直轄国道平均の死傷事故率を大きく超過。
2) 事業の整備効果	前回再評価時点(H24年9月)から大きな変化なし	
3) 事業の投資効果	社会経済情勢等に大きな変化がないため算出を省略	前回 全体 B/C 1.2 残事業B/C 3.0
4) 地域における計画等	前回再評価時点(H24年9月)から大きな変化なし	
事業の進捗の見込みの視点	進捗率(事業費)約59% 用地取得率(面積)約30%	
コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点	新技術、新工法の採用などを引き続き検討	

事業の進捗の見込みの視点

一般国道29号 姫路北バイパス

1) 事業の進捗状況

平成27年度事業内容

- ・ 2-2工区 (1.4km) において調査設計を推進しています。

進捗状況

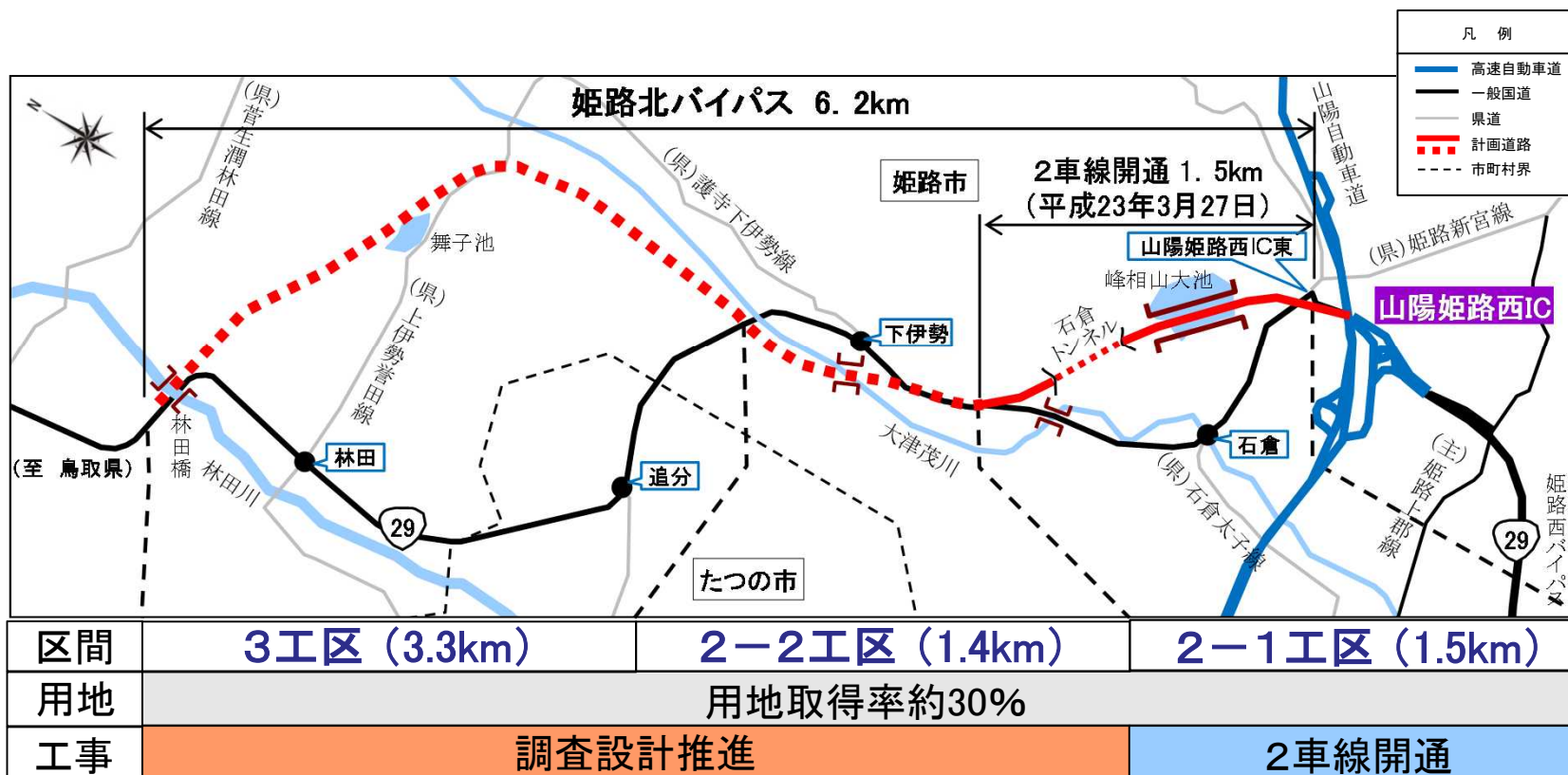
- ・ 平成26年度末までの進捗は用地進捗率約30% (面積ベース)、事業進捗率約59% (事業費ベース) です。

事業進捗上の課題

- ・ 全工区において大きな課題はありません。

2) 今後の事業スケジュール等

- ・ 2-2工区~3工区 (4.7km) において引き続き調査設計、用地買収を推進していきます。



■兵庫県知事

平成27年6月30日 土第1276号

近畿地方整備局事業評価監視委員会に謀る対応方針(原案)の作成に係る意見照会について(回答)

一般国道29号姫路北バイパスは、宍粟市や姫路市北部と同市市街地を結び、姫路西バイパス、山陽自動車道姫路西ICと直結しており、播磨地域の南北交通を受け持ち、地域間交流に資する重要な道路である。

本道路約6.2kmのうち、南側約1.5kmが平成23年3月に供用され、現道の交通量が大幅に減少したことにより、石倉交差点の渋滞解消や沿道の環境が改善されるなど、整備による効果が顕著に現れている。

残る事業区間4.7kmには、通勤、通学時の移動手段としての自動車交通が多く、交通容量(約13,000台/日)の約1.6倍にあたる約20,000台/日の交通が集中し、朝夕は依然として混雑している。また、低騒音舗装など対応可能な騒音対策を実施しているものの、昼夜ともに環境基準を超過している。

また、本道路は、「平成の大修理」を終え、この3月にグランドオープンした世界文化遺産・国宝姫路城へのアクセス道路であるため、姫路市からも早期完成の強い要望がある。

こうしたことから、コスト縮減に配慮しつつ、安全で円滑な交通確保、環境改善及び観光・地域振興に資する本バイパス事業の推進に引き続き取り組んでいただきたい。

ひめじきた

姫路北バイパスは、事業の必要性等に関する視点に変更はなく、事業の進捗の見込みの視点から継続が妥当と判断できる。

引き続き事業を推進し、早期の開通を目指すことが適切である。

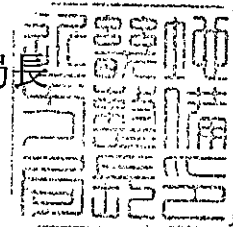
事業継続



国近整企画24号
平成27年 6月16日

兵庫県知事 殿

近畿地方整備局長



近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る
対応方針(原案)の作成に係る意見照会について

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領(以下「実施要領」という。)に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、近畿地方整備局事業評価監視委員会(以下「委員会」という。)において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、平成27年7月6日(月)に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、平成26年6月30日(火)までに、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

※ご意見の送付・問い合わせ先

近畿地方整備局 企画部 企画課 事業評価係

電話 06-6942-1141

FAX 06-6942-7463

(再評価)

【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
一般国道29号姫路北バイパス	事業継続	

※貴県の意見を踏まえ、近畿地方整備局事業監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。

土 第 1276 号
平成 27 年 6 月 30 日

近畿地方整備局長 様

兵庫県知事



近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の作成
に係る意見照会について（回答）

平成 27 年 6 月 16 日付け国近整企画 24 号で照会のありました標記の件につきまして、別紙のとおり回答します。

【道路事業】

〈一般国道 29 号 姫路北バイパス〉

兵庫県知事の意見

一般国道 29 号姫路北バイパスは、宍粟市や姫路市北部と同市市街地を結び、姫路西バイパス、山陽自動車道姫路西 IC と直結しており、播磨地域の南北交通を受け持ち、地域間交流に資する重要な道路である。

本道路約 6.2km のうち、南側約 1.5km が平成 23 年 3 月に供用され、現道の交通量が大幅に減少したことにより、石倉交差点の渋滞解消や沿道の環境が改善されるなど、整備による効果が顕著に現れている。

残る事業区間 4.7km には、通勤、通学時の移動手段としての自動車交通が多く、交通容量（約 13,000 台/日）の約 1.6 倍にあたる約 20,000 台/日の交通が集中し、朝夕は依然として混雑している。また、低騒音舗装など対応可能な騒音対策を実施しているものの、昼夜ともに環境基準を超過している。

また、本道路は、「平成の大修理」を終え、この 3 月にグランドオープンした世界文化遺産・国宝姫路城へのアクセス道路であるため、姫路市からも早期完成の強い要望がある。

こうしたことから、コスト縮減に配慮しつつ、安全で円滑な交通確保、環境改善及び観光・地域振興に資する本バイパス事業の推進に引き続き取り組んでいただきたい。